

令和6年度

入善町立入善小学校

令和6年9月10日



学校だより

スマホから学校HP→



学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

教室の様子をご覧ください。ほぼ毎日更新 <http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

おとなの自由研究

校長 内山 真之

校内は、「夏休みの自由研究」や「発明とくふう」等の夏休みの学習の成果に溢れています。私自身も遠い夏を思い出し、保護者の皆様のご苦勞が目に浮かびます。

さて、本校の教職員も日々、小さな工夫をしています。

「畑にヘチマを植えても、場所が遠くて子供たちは観察できない」と、職員室の窓の下にプランターを置いて、大きなネットを張りました。意図して遅く植えられたヘチマは、9月の今、花を付け、実を付け、丁度良い観察のタイミングで、青々とした涼しげな姿を見せています。

夏の終わりの職員室では、「雄花ばかり咲いている。雄花の数が揃ってから、雌花が出てくるのでしょうか」「下の葉は弱々しい。上の葉が元気」「それはキュウリ等のどの植物でも同じですよ」「こんなこと今まで考えたことなかった」といった声。そこにヘチマがあるから、ヘチマに心が動いて対話が生まれ、仲間との関係性も学びも深まっています。

学習環境を少し工夫するだけで、私たちの学びはとても豊かになっていくのです。

毎日、花を生けている職員は、「百日草がいたみやすい。花瓶の水の量を少なめにすると、逆に日持ちするようになるので試しています。これは私の自由研究です」と話しています。

先日、「鳥人間コンテスト 2024」の滑空部門で新記録を樹立した大人チームは、「鳥人間は、おとなの自由研究です」と応えておられました。「自由研究」はたいへんですが、楽しくもあり、自分で考え進める知的な遊びといった面があります。生活の中に小さな自由研究をもっていると、大人も子供も関心が広がり、学ぶ意欲も高まっていくように感じます。

「自由研究」は、かつては学校の教科でした。昭和22年の学習指導要領(試案)では、「自主的な活動を行うための時間」とされ、戦後の新しい教育の一面を担うものと期待されたようです。昭和26年には「教科以外の時間」となり、姿を消しました。その主体的な学びの精神は、「夏休みの宿題」や「生活科や総合的な学習の時間」へと受け継がれています。

体験的でワクワクし、夢中になれる「探究的な学び」に取り組んでいきたいと思います。

プール監視ありがとうございました

猛暑が予想されるなか、なんとかプール開放をできないかと、午前中の短時間(10時~11時15分)という設定で実施しました。午前は熱中症指数も低く、雨の1日を除いて11日間、開放することができ、子供たちに夏の遊び場を提供することができました。暑い中、プール監視をしてくださった1、2年生の保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



2学期の主な行事予定

※変更になることもあります。ご了承ください

9月	9日	(月)	漢字・計算大会(～13日) 教育実習(伊藤先生～25日)
	13日	～19日	入善町小・中学校作品展・発明とくふう展
	21日	(土)	運動会 午前中実施(弁当持参) 5限終了後下校(14:30) 【雨天順延】
	24日	(火)	運動会の振替休業
	27日	(金)	1年生【森の寺子屋事業(3, 4限)】
10月	1日	～2日	4年宿泊学習(黒部市あこや～の)
	2日	(水)	1年給食試食会・1年親子活動
	7日	～8日	6年宿泊学習(立山青少年自然の家)
	10日	(木)	5年理科現地学習(黒部川)
	19日	(土)	入善町チャレンジ・ザ・ギネス大会
	21日	(月)	3年社会科現地学習(消防署、警察署)
11月	7日	(木)	小学校教育課程研究集会(本校会場)
	16日	(土)	入善地区公民館祭り(3年生、希望者)
	19日	(火)	学習参観・学校保健委員会
12月	10日	(火)	入善町小学校講演会(4～6年)
	16日	～18日	個別懇談会
	24日	(火)	2学期終業式

PTA資源回収 8月25日

雨が心配されましたが、この時期には涼しい日となりました。

早朝より、地区役員の皆さんに各地区を廻っていただき、切れ目なく資源を積んだ車が並びました。この日のために、各ご家庭でご準備いただいていたようで、たくさんの資源を回収できました。収益は、PTAの活動資金として、子供たちの活動のために有効に活用していきます。小学生の子供たちも保護者と一緒に、真剣に働いてくれている姿がありました。

PTA役員の皆様、地区の皆様、ご協力ありがとうございました。



入善町派遣事業の発表 9月2日

始業式の後、夏の入善町の派遣事業で「宮城県登米市」「広島市」を訪れた6年生の5名が、そこで感じたことを発表しました。とても貴重な経験をし、深く考えてきたことが伝わりました。今度は、5年生が来年の派遣事業に参加を希望してくれることでしょう。子供たちの話を聞く姿勢にも成長を感じました。

